

カトリック河原町教会だより

2019年5・6月



『無原罪の御宿り』ーベネラブレースー
ムリーリョ 作 プラド美術館

「主のことばを信じたあなたは幸せ」

ルカ 1・45

聖母マリア

自分自身の存在の最初の瞬間からきわめて独自の聖性に輝き、神の命令によって天使から「恵まれたかた」というあいさつを受けたナザレのおとめは、天の使いに「わたしは主のはしためです。おことばどおり、この身に成りますように」とこたえた。こうして、アダムの子であるマリアは、神のことばに同意してイエスの母となり、いかなる罪からも麻痺させられることなく、真心から、神の救いのみ心を受諾し、主のはしめとして子とその働きに完全に自分をささげ、子のもとで、子とともに、全能の神の恵みによって、あがないの神秘に奉仕したのである。

(教会憲章 56から抜粋)

聖母聖月

季節の女王と呼ばれる五月になりました。あらゆる所で生命の息吹が青々とした豊かさと温かさを味わわせてくれます。生命の神秘が全てを抱擁する大地の生命力を感じさせる季節。最も美しく穏やかな季節と称される月です。又、五月には子供の日、母の日があり、日常の中で忘れがちになっている母を思い起こす月でもあります。教会でも聖母マリアの月に設定されています。この季節を好きになる理由の一つは、その穏やかな母の懐のような温もりにあるように思います。何の心配もなく、生まれたばかりの幼児のように、母のふくよかな温もりが漂う腕に抱かれて、愛と忍苦の生き方を受け入れられた聖母マリアを心の中で描いてみます。

全ての聖人、聖女の言葉がわたしたちの心に素直に受け入れられ、共鳴共感できるのは難しい言葉とか教えではありません。感じたり見たりすることの出来る、ありのままの平凡な生活の営みの中で現わされる、愛の実践によるものでありましょう。それゆえ、父親よりは母親の愛情の方が、わたしたちを一段と懐かしくさせるのではないのでしょうか。花の香りが遠くまで届くのは、香りの目的が自身を守ろうとするものではなく、ひたすら分け与えようとするものだからと言われています。

まことの愛とは、このように全ての人を抱擁し、独占欲や執着心を持たず、全てを差し出そうとする母の心でありましょう。そこでこの月には母の心を想像し、それをわたし

洛東ブロック担当 ユン・サンホ(ヨハネ)神父

たちの心に積み重ね、蓄えて、他の人々に伝えて行きたいと思います。イエス様が人類の救いの為に、ご自身の身も心も差し出すことが出来たのは、母マリアの貧しい生活と、沈黙の中にしみわたる愛と忍苦の働きがあったことで成就されたのだということを、わたしたちは知ることができます。今もすべての人々が、母の、愛と忍耐の犠牲による香ばしい香り、培われ成長させてもらっています。母のその愛を食べ、飲み、香りに包まれて育てられているのです。ですから、その愛で他の人々を愛して生かし、愛の繋がりによってその香りを拡散し、愛の実をあたり一面に実らせるのです。

わたしたちが、冬の暗く厳しい寒さの日々を耐え抜いて来なかったならば、どうしてこの美しい花咲く季節を迎え、その芳しい香りの恵みを受けることができたでしょうか、と思い巡らすとき、次のようなことに思い至ります。聖母の頭上に輝く冠の栄光は、どのようにしてお受けになったのかと考えてみます。十字架の美しい愛と、苦しみと死の受容があったので、復活の喜びと平和が存在することを、今一度思い起こしたいと思います。だからこそ、冬の厳しい寒さを克服することが出来た人のみが味わう、春の温かなぬくもり、世の美しさを感じる事ができるのではないのでしょうか。わたしたちの心の母マリアの忍耐と愛を心に秘めて生きていくならば、わたしたちは日常の生活の面であらゆる困難を克服し、喜びの中で感謝しながら生きていくことができるでしょう。

2019年 洛東ブロック四旬節黙想会

3月10日(日)山科教会にて小立花 忠神父指導のもと、洛東ブロック四旬節黙想会が開催されました。午前8時からゆるしの秘跡が行われ、9時の主日ミサ後「イエス・キリストの復活について」をテーマに講話と黙想の時間が持たれました。

講話は、復活の朝婦人たちが見た空の墓のお話で始まりました。空の墓はイエスが復活された「しるし」であり、人間性を持ったイエスが人間の死を通して神の領域にあげられたことを示しています。小立花神父は自らの体験を語り、参加者各自にとって空の墓は何であったかを考え、復活されたイエスとの出会いを思い起こすように勧められました。教会で教える「復活」とは、古い自分に死んで新しい自分に生まれることです。例えば自分の力で生きていた人がイエスと出会い、本当は神に生かされていたと気付きます。そして感謝と喜びに満たされ、今までなら出来なかった嫌な他人を許せるようになります。その人の中で起こった、神秘的な出来事は、洗礼という「しるし」につながっていきます。それはイエスと出会い、新しい人になったことを示します。やがて、人生の終わりに肉体の死を迎え、「復活」を体験することになります。その時、「復活」は「しるし」ではなく、目に見える現実の出来事なのです。

20章28節のトマスの言葉「私の主、私の神よ」にて講話は終わり、最後の黙想の時間になりました。その後、ユン神父のご協力を頂き、ゆるしの秘跡が行われました。笑いあり涙ありの黙想会は、イエス様の示された愛を十分に感じる事が出来る素晴らしいものでした。

黙想会の後は、山科教会の皆さまの心のこもった手料理とお菓子で、楽しい歓談のひと時を持つことができました。
(広報部員)



厳しい冬が終わって春は生命の季節です。教会では毎年
ご復活祭をお祝いしてイエス様の死と復活を記念します。
教会には様々な「しるし」がありますが以下はその一部です。



棕櫚の葉

イエス様のエルサレム入場を表します。エルサレムの人々は喜んでイエス様を迎えますが、この出来事の数日後に人々は悪人に扇動され、イエス様を十字架につけることを要求します。人間の変わりやすさを示します。



復活のろうそく

神様への従順から死を身に受け、復活されたイエス様を示します。暗闇を照らし、神様のもとに私たちを導きます。



門の聖句

道行く人々に、神様の救いのみ言葉を伝えます。多くの人々が、このみ言葉に目を留めて教会の門をくぐっていただけることを願います。

主のご復活おめでとうございます

2019年4月21日(日) 新しいメンバーとともに、今年も復活の主日を迎えることができました。
これからも河原町教会は、すべての人に開かれた教会として、救いの使命を果たし続けます。



◇ 2019年5月～7月の行事予定 ◇ (予定は変更になる場合があります)

★地下改修、聖堂免震、新会館建設(前庭)の順で改築工事が行われています。

月	日	曜日	行 事 予 定
5	5	日	[復活節第3主日] 評議会5月例会 10:30ミサ後
	12	日	[復活節第4主日] 教区新信者のミサと集い 14:00 [世界召命祈願の日]
	19	日	[復活節第5主日]
	25	土	小教区評議会役員研修会
	26	日	[復活節第6主日] [世界広報の日]
6	2	日	[主の昇天] 評議会6月例会 10:30ミサ後
	9	日	[聖霊降臨の主日] 京都南部地区合同堅信式(桂教会) 14:00
	16	日	[三位一体の主日]
	23	日	[キリストの聖体]
	24	月	[洗礼者聖ヨハネの誕生]
	28	金	[イエスのみ心]
	29	土	[聖ペトロ 聖パウロ使徒]
	30	日	[年間第13主日] 済州教区交流感謝ミサと大塚司教霊名のお祝い10:30
7	7	日	[年間第14主日] 評議会7月例会 10:30ミサ後
	14	日	[年間第15主日]
	21	日	[年間第16主日]
	27	土	洛東ブロック会議(河原町教会)
	28	日	[年間第17主日]

さつきのきさきを

1 さつきのきさきを
あめつち歌う
ひと年めぐりて
百合咲く季節
マリア祝しませ
祝せられませ

2 マリアのみ前に
千草みだれて
色とりどりにぞ
織りなす錦
み飾りにせよと
地は咲出でぬ

3 みどりの牧場に
み母の子らは
ひつじの如くに
群れ集いつつ
さゆり手に翳し
ことほぎ奉る

カトリック聖歌集351番

4 み母立ちませば
あまつ風吹き
とこ春のごとく
世も和らぎて
み母のみめぐみ
地をぞ潤さん



「ぶどうの会」巡礼バスツアーのご案内

「ぶどうの会」では下記の通り、巡礼バスツアーを計画しました。
お誘い合わせの上、多数ご参加ください。

- ・行き先: 伊賀上野教会(組みひも作り体験)
- ・日時: 2019年6月8日(土) 8:00集合(教会前庭)
- ・解散: 午後5時頃の予定
- ・参加費: 6,500円 ・先着50名



河原町教会 ミサの時間

日曜日 (主日のミサ)

7:00

10:30

* 英語ミサ 12:00(第2・4週)

月曜日 6:30

火曜日 6:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 18:30

土曜日 6:30 18:30

(主日のミサ)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F集会室)

月曜日 19:00	一場 修 神父
火曜日 15:30	一場 修 神父
水曜日 15:30	Sr.ローサ
金曜日 11:00	Sr.ローサ
金曜日 19:15	村上 透磨 神父
火曜日 午後のみ[洗礼準備講座]	ユン・サンホ神父 (時間応相談)
水曜日 10:30	ユン・サンホ神父
金曜日 17:30	菅原 友明神父
土曜日 11:00	菅原 友明神父
土曜日 17:00	菅原 友明神父

※洗礼準備講座をご希望の方は教会事務室まで
お問い合わせ専用アドレス

rakuto.nyumon.class@gmail.com

◇信徒養成講座◇

木曜日 15:45～16:45 信徒養成講座

一場 修 神父

第1土曜日19:30～20:15 信徒養成講座

菅原 友明神父

◇南部地区信徒養成講座◇

(6Fホール)

大塚 乾隆神父「典礼を学ぶ」

5月22日(水)・6月26日(水)

13:30～14:50

◇『ラウダート・シ』英文読書会◇

(1F集会室/毎月2回 第2・4木曜日)

14:00～15:30

指導: Sr. メリー・レベッカ・我部

◇主日の福音を読む集い◇

(3F・301号室)

毎週日曜日9:30～10:15

カトリック河原町教会だより 2019.5・6 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 担当司祭: 一場 修

TEL: 075-231-4785 FAX: 075-211-8021 URL: http://CatholicKawaramachi.Kyoto